

きょうざい
ドラマ教材 3 「あんぜんにつかうために」

①いっくんのゲームがめん

いっくん 「ランクアップしたいなあ、どうしたらいいんだろう」

②いっくんのゲームがめん

キツネ 「やり方^{かた}はここに出^でてるよ」

いっくん 「見^みてみたいなあ」

③いっくんのゲームがめん

キツネ 「見^みろ！見^みにこい」

オウム 「ヤメロ！ヤメロ！」

④いっくんのゲームがめん

いっくん 「あれ？見^みれないや」

キツネ 「え？なんで？」

いっくん 「やっぱり、^{じぶん} 自^{ちから}分の力 でがんばろう！」

いっくん 「もし、^み見^みれてたらどうなったのかなあ」

⑤ <じかんがまきもどる>

(ニセモノのがめんにだまされてしまったいっくん)

いっくん 「え？こわいよー！」

⑥ ねねちゃんへんしん！

ねね 「へんしん！」

ねね 「そんなことにならないように、フィルタリングでブロックしたのよ」

⑦ へんしんねねちゃん

ねね 「わるいことしちゃだめでしょ」

キツネ 「うわあー」

⑧ いったんからのといかけ

いったん 「フィルタリングがぼくをまもってくれたんだね」

いったん 「みんなが^{いま}今つかっているきかいにもフィルタリングが^{はい}入っているか、おうちの^{ひと}人に^き聞いてみよう」

⑨ <まとめ>

いったん 「フィルタリングはみんなをまもるためにあるんだ。」

いったん 「おうちの^{ひと}人にきちんとせっていしてもらおう」